

別記様式 8

復興庁入札等監視委員会第15回定例会議議事審議概要

開催日及び場所	令和6年8月2日（金）、復興庁本庁	
委員	阿部 博友 名古屋商科大学ビジネススクール教授 檜谷 隆夫 公認会計士・税理士（欠席） 吉村 典久 慶應義塾大学法学部教授	
審議対象期間	令和5年10月1日（日）～令和6年4月1日（月）	
抽出案件	3 件	（備考）
（内 訳）		抽出事案審議の他に、調達改善に係る取組について報告を行った。
競争入札		
最低価格落札方式	1 件	
総合評価方式	2 件	
随意契約		
企画競争	件	
公募	件	
不落・不調	件	
特命（企画競争及び公募を除く）	件	
応札（応募）業者数1者	3 件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答等
	別紙のとおり	別紙のとおり
その他（報告）	〈調達改善の取組について〉 「第14回の委員会における意見・質問に対する弊庁の対応」 「令和5年度復興庁調達改善計画の年度末自己評価結果」 について同委員会に報告。	
委員会による意見等の具申の内容	別紙のとおり	

※必要があるときは、各欄の配置を著しく変更することなく所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができる。

1. (契約件名)令和6年度復興庁本庁の自動車運行管理業務
(契約方式)競争入札 最低価格落札方式

意見・質問	回答等
予定価格の設定において、過去の入札参加者から参考見積書を徴することは可能か。 他省庁と情報交換すれば、より効率的で適正な価格を全省庁で統一的に把握できると考えられるが、他省庁の同種の事業を参考にしてしているのか。 入札説明会は、意見を聞いたり、参考見積書の提出をお願いできたりメリットがあると考えられるが、説明会を開催しなかったのはなぜか。 一者応札を改善しなければならない状況では、「書いてあるから十分」「聞いてこないからそれで良い」ではなく、何とか複数者の入札が確保できるように取り組むべきと考える。 入札に参加しなかった理由をどのように考えているか。 (総括) ① 複数者の入札を確保するべく、説明会の実施等を含め、方策を検討すること。 ② 複数者から見積書を取り付ける等、予定価格の適正な設定に尽力すること。	徴することは可能だが、基本的に入札参加意思のある事業者を参考としている。 参考にしたことはない。何か出来ないか検討していきたい。 「仕様書で事業内容が分かる」及び「仮に質問があっても随時受け付ける体制を構築」から説明会を開催しなかった。 運転手の数が足りないからだと考えている。

2. (契約件名) 令和6年度県外自主避難者支援体制強化事業

(契約方式) 競争入札 総合評価落札方式

意見・質問	回答等
令和5年度に事業者が変更となっている。令和5年度の募集をする際に、何者ぐらいに声をかけをしているのか。	10者から15者ぐらいである。
最終的に2者であったが、参加しなかった理由を分析しているか。	例えば、他の業務があつて、ここまで大きなプロジェクトに着手することが難しいとの意見があつた。 事業担当としては、事業実施方法、事業者自身の事情、社会情勢など色々な要素が絡んでいると考えている。
複数者の応札を促進する取組みを具体的にどのように考えているか。	仕様書の記載を工夫する、必要な範囲内での事業者への声を工夫するなどが考えられる。
オンラインの説明会に何者参加したのか。	今回、参加者はいなかった。
(総括) ① 引き続き一者応札になった背景等を分析し、仕様書の工夫等を通じて、複数者の応札を確保すべく尽力すること	

3. (契約件名) 令和6年度「新しい東北」官民連携推進協議会運営事業

(契約方式) 競争入札 総合評価落札方式

意見・質問	回答等
令和6年度契約額が大分低くなっているが、理由があるのか。	1者応札の状況を踏まえ、業務の性質で判断して契約を分割した。
令和3年度から令和4年度にかけて落札事業者が変更されている。変更となった理由を分	分析していない。

析しているのか。 変化があるときの情報は、とても重要なので、出来れば入手するように努めてもらいたい。 分割した他の事業の入札結果も一者応札だったのか。 本件をさらに分割することができないのか。 (総括) ① 入札を断念した事業者から理由等を聴取することによって、応札できなかった理由を分析して、複数者の応札につながるように尽力すること ② 事業を分割する等、複数者の応札につながるように尽力すること ③ 仮に1者応札となった場合でも、見積書を精査することにより、契約が適切である水準に維持されるように尽力すること	5者の提案があった。 事業実施のための人員確保という観点で、異なる性質の事業が含まれている。分割する方向で考えていきたい。
--	---

4. 総括

意見・質問
一者応札改善のためには、議論したような様々な工夫の余地がある。一者応札を減らして、複数者の応札を維持していくことが必要である。